

ほん 大好き

中央公民館図書室 ☎42局7200番

中央公民館
図書室からの
お知らせです



Book

INFORMATION

今月新しく入りました。

※ 10月の新刊は、1日（月）からの貸出となります。

一般の本

- ・官邸襲撃（作＝高嶋哲夫）
- ・消えていく日に（作＝加藤千恵）
- ・火花散る（作＝あさのあつこ）
- ・ミダスの河（作＝柄刀 一）



子どもの本

- ・おかあちゃんがおこるわけ（作＝もりまさよ）
- ・おしっこ ちょっぴり もれたろう（作＝ヨシタケシンスケ）
- ・ピーマンのにくづめだったもののはなし（作＝若井麻奈美）
- ・まわるよる（作＝tupera tupera）



図書室からのお知らせ

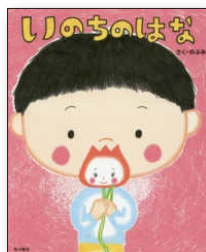
図書室読書まつりを行います !!

こどものとしょしつで、読書まつりを行います。この日は絵本の読み聞かせのほか、ビンゴ大会なども予定しています。ぜひ遊びに来てください。

- とき 10月14日（日）午前10時から正午まで
- ところ 中央公民館1階「こどものとしょしつ」



お話し
聞ける
楽しい
よっぱい



いのちのはな
作：のぶみ



九十歳。
何がめでたい
作：佐藤愛子

人 生何があるか分からないし、それをマイナスと受け取るか、プラスと考えるかで生き方が随分変わってしまう。チューリップのプーは、バラから「あなたは要らない花なんだから」と言われても、ハトから「気持ちわる〜!」と言われても誰かを恨むのではなく、自分のハナを咲かせたい!というパワーに変えて頑張りました。そんな

中、病気が治った人間の子どものかんたろうが、チューリップを見つめ「苦しいのは、僕だけじゃなかったんだ!」と泣いてくれる姿に、昔の人が言う格式ばった道徳的な言葉ではなく、身近で可愛い登場人物たちでつづられている絵本なので、「人生って色々あるんだね」と、子どもたちに伝えられる本ではないでしょうか。

長 寿国日本! 人生100年! と言われる言葉が普通に飛び交うこのごろですが、その一方で「膝が痛くて、湿布はかかせないし、何もない所でつまづくのよねえ。」とか「友達の家を15年振りに訪問したら、曲がり角を1つ間違えてウロウロしまくったりで、長生

長

きするって大変〜。」が実感! そんな時、目に留まったのがこのタイトル。その言葉を言ってみるだけで、身の回りの暗雲立ち込める煩わしさが、ス〜と消えていく気がした。長く生きていけば大変な経験もするが、長く生きていくからこそ書ける味わい深い本だな〜と思った次第です。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は高辻光代さんです。

広がる本だ

／ 10月の休館日は、3日（水）です／開館時間は午前9時から午後5時まで（1階ロビー・返却窓口は午後9時30分まで）

／返却期限が過ぎている本は、至急で返却ください